



発行日： 2024 年 9 月 20 日

発行： 一般社団法人宮城県理学療法士会

代表者： 渡邊 好孝 編集： 佐々木友也 (E-mail: news.edit@pt-miyagi.org)

もくじ

1. 巻頭言
2. 第 15 回定期総会開催報告
3. 新理事就任の挨拶
4. Column ～所有から利用へ～
5. 「団体保険のご案内」と「未加入者へのご案内」
6. 宮城県理学療法士会 大交流会 開催報告
7. ブロック局 各支部長からのご挨拶
8. 予防と健康づくり部 これまでの
活動概要とこれから
9. 「第 29 回国際車いすテニス大会」活動報告
10. 国際交流・支援等委員会活動報告と今後の企画
11. 宮城県理学療法学会大会開催について
12. 宮城県理学療法士会 主催研修会
13. 理学療法士が教えるぜひ読んで

おきたいこの 1 冊

○巻頭言

人間を中心とした社会 文明と文化

一社) 宮城県理学療法士会
会 長 渡邊好孝

【文明】

人間中心の社会は、人類が誕生し狩猟社会を経て、紀元前1万3千年頃より農耕社会となりました。

18世紀より工業社会を迎え、第1次産業革命(機械化:水力、蒸気機関、軽工業、紡績機等)、第2次産業革命(大量生産:石油、重化学工業、電力、モーター等)によって社会は発展し続け、20世紀後半からは、第3次産業革命(自動化:コンピュータ、インターネット、情報化等)によって、人と人を繋ぐ情報通信技術(ICT)が急速に普及し、情報社会となりました。現在は第4次産業革命(自律化:AI、IoT、DX等)は、デジタル化とサービスの融合を目指しています。

21世紀の「人間中心の社会」は内閣府が描く未来社会「Society5.0」で見ることができ、DXを進める上でも深い関連を持った言葉とされ、DXによって「人がもっと輝ける未来と社会を作る」と記されています。

近い将来に実現する社会は、経済発展と社会的課題の解決を両立させるために、全ての人とモノが繋がり、様々な知識や情報が共有し、これまでにない新たな価値を生み出す「超スマート社会」を目指す計画が進行しています。

【文化】

新たな文明によって、これからの人々は集団に属さなくても生きることには困らず、人間関係からの煩わしさからも解放されると思っている方もいるようです。このような方が増えれば、人間らしさから懸け離れた進化をするSF的な人類が誕生する

かもしれません。

人類がつくり出した文明社会は、変化する自然環境や人工環境に適した人として生き残るための選択を繰り返してきたことによるもので、“人”が進化したわけではありません。

人は、他の生物の適者生存や弱肉強食とは一線を画す生存戦略で、“人間としての成長プログラムを更新し続けた”ことによります。

人間がつくった、法律・科学・道徳・宗教・政治・倫理などを基にして、より良い環境づくり社会づくりの中で文化を築いてきました。

しかし、21世紀になっても文明の利器を兵器とし、性懲りもなく神が創造した“人”さえも破壊する戦争に過剰なエネルギーを使っているのも人という生物です。

それぞれの社会や文化の多様性を認め合わず、わかりあえない他者と生きることを拒み、お互いが自分に都合のよいフィルターを通して物事を認識し、その思考の枠組みを外せずにいるかのようです。

現代の文明人ならば、対立はしても敵対はしない、人格を持たない神が創った自然と調和しながら、理想とする人間中心の社会を築くことができるはずですが、諍いや紛争はいっこうに収まりません。

【文明と文化】

小説家の司馬遼太郎氏は、著書『春灯雑記』(1991年発行)の中で文明と文化について述懐しています。

一文を引用しますと、「文明とは、定義としていえ

ば、たれでも参加でき、参加すればたれも普遍的価値を感じることができ、そこに便利さと平和を感じることができるものでなければなりません。文明の普遍性に対し、それに裏打ちされる文化は、いわばその反対の位置にあります。文化とは、個人あるいはグループだけの得意なものでしょう。」と話されています。

【文明の利器】

20 世紀前半までの感染症などによる集団的不条理は、誰に対しても起こる対処のしようがない巨大な厄災でした。

2019 年の新型コロナウイルス感染症は世界的流行 (pandemic) となり、人々の行動範囲は狭まり、今までの自由が奪われる苦しみや悲しみを味わいました。

日本は他国と比べ、21 世紀のデジタルによる文明開化に乗り遅れていましたが、2019 年のコロナ禍を契機にリモートワークやオンライン授業が一気に普及し、Zoom、Google Meet、Skype、Microsoft Teams、Slack・・・などのコミュニケーションツールは身近な存在になりました。

誰もが“文明の利器”の普遍的価値を実感されたと思います。

【コミュニケーション】

そもそも、リモートとは“距離”に焦点を当てた用語、オンラインはインターネットを使うことを前提とした“手段”として用語は使い分けられていましたが、インターネットが社会全体に普及し情報の伝達やデータの処理が経済の中心となったことで同じ意味として使われています。もはや、インターネットが繋がらない環境に身を置くことは、不便極まりない状況にさえなりました。

また、オンデマンド (on demand=要求に応じて)

配信サービスが普及し、学習の機会を逃しても必要とする情報は得やすく便利になりましたが、その反面、対面ならではの臨場感や緊張感を伴う対話 (Dialogue) の機会は減少し、参加者として存在はしたものの一人の空間では独話 (Monolog) 的になることも少なくありませんが。

仮想空間での対話は筋道を立て端的にすべてを言い尽くすように心掛けなければなりません、
「Yes or No」の結果を切り口上によって知ることができても、“わかりあえた”とは思えない現実もあります。

現実空間の“人と人之間”で行う対面でのコミュニケーションは、“わかりあうこと”だけではなく、“わかりあえないこと”をも感じ取れる人間関係の場です。

お互いの存在を確認し受け止めながら、相槌を打ちあったり、小首を傾げたり、微笑みを湛えたり、声を重ねて話しあったり、協調的に会話が進行できる、共話 (Synlogue) 型の人間らしいコミュニケーションの場が少なくなったことに、寂しさと不安を感じることがあります。

文明の利器がどこまで人間らしさに近づけるのか、その未来に興味は尽きません。近い将来、進化した AI が搭載されたヒト型ロボットやスマートフォンやパソコンに搭載されている AI 音声認識サービス (Alexa、Siri、Cortana、Google Assistant 等) が、共話的に反応するのも遠い未来ではないような気がします。

理学療法士の文化は、深い人間理解とそれに基づく愛によって、身体の空気の膜の揺らぎを察したり、さらには心の温度を感じるような交流によって受け継がれていると思います。

デジタル化がもたらす文明の利器は、人間を中心とした社会の中で便利さと平和を感じられるモノとして進化し続けてほしいものです。

○第 15 回定期総会開催報告

～ご協力ありがとうございました～

宮城県理学療法士会 事務局長
高橋 利幸

令和 6 年 5 月 12 日（日）に第 15 回一般社団法人宮城県理学療法士会定期総会を開催することができました。本総会では、前年度に引き続き、東北文化学園大学にて対面形式での開催となりました。

冒頭、会長より令和 5 年度活動総括として、各部局・支部・委員会の活動報告が行われました。続いて各局長より、令和 5 年度の活動報告および決算報告、令和 6 年度の事業計画および予算案の報告が行われました。活動報告では、ハイブリッド形式での学習機会の提供や、会員間の交流が促進されている現状が報告されました。

質疑応答では、「理学療法にあゆみ」を紙面での発行形態を残して頂きたいと、貴重なご意見を頂きました。昨今の印刷・発送費の高騰や環境負荷の観点から、ペーパーレス化が進む傾向にあります。しかしながら、紙面で残すことの重要性も十分に理解しております。特に、紙媒体がもたらす保存性や閲覧の容易さは無視できないものであり、これまでの歴史や伝統を記録・伝達するためには有益であると考えています。そのため、紙面での提供を含めた最適な対応方法について、慎重に検討を進めてまいります。皆様からいただいた貴重なご意見を参考にしながら、今後の方針を決定していく予定です。何卒ご理解お願い申し上げます。

なお、令和 6 年度より「電磁的議決権」の運用を開始する予定です。これにより、オンラインでの議決権行使が可能になります。会員の皆様により運用に関するアナウンスをさせていただきますので、ご理解と運用へのご協力をお願いいたします。

また、本総会において、役員任期満了に伴い、坪田理事が退任し、新たに安孫子理事が就任いたしました。坪田理事には、これまでの多大なるご尽力に心より感謝申し上げます。安孫子理事には、今後の活動において新たな風を吹き込んでいただき、会の発展に寄与していただけることを期待しております。

最後に、今回の総会開催におきまして、当日ご参加いただいた会員および委任状の送付にご協力いただいた会員の皆様へ心から感謝申し上げます。忙しい中でも理学療法士会の運営に対する責任を果たすためにご協力いただきましたことに深く感謝いたします。

今後も、皆様のご意見を大切にしながら、さらなる発展に向けて取り組んでまいります。引き続き、ご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

○新理事就任の挨拶

宮城県理学療法士会 理事

安孫子 洋

(社会医療法人将道会 総合南東北病院 リハビリテーション科)

この度新しく理事に就任いたしました。総合南東北病院の安孫子です。私の役割としましては、社会・ブロック局担当として、主に岩沼から南の地域の皆様とコロナで途絶えた交流を再開すること、先進リハ機器活用推進委員として、皆様と時代の進化（深化）について学び、活用していけるよう役割を頂戴しております。

これまで長年多くの方々に支えられながら宮城県で勤め、また、幸いなことに多くの若い理学療法士と共に働く機会をいただいております。そのような環境の中、これまでこのように活動できてきたことに感謝し、何かこれからの宮城県の理学療法のためにできることはないか、若い方やこれからの宮城県の理学療法士にできることはないか考え立候補いたしました。私にできることはわずかかもしれませんが、会員の皆様が所属していて安心して有意義な組織としてあるように努めてまいりますのでよろしくお願いいたします。何か、ご意見、ご提案等ございましたら遠慮なくご連絡いただけましたら幸いです。



～所有から利用へ～

皆さん、吉村妃鞠（HIMARI）さんをご存知ですか？

2011年生まれで、6歳からプロのオーケストラと共演している世界に誇る日本の天才バイオリニストです。

初めてスマホでYouTubeを視聴したときの驚きと、大画面&サラウンドスピーカーシステムで視聴したときの感動は、今も鮮明に覚えています。

まだ、ご存じではない方は、ぜひ彼女がオーケストラをバックに演奏する姿や、ピアノとのデュオなどを視聴してみてください。ヘッドホンで目を閉じて聴いても、その素晴らしさは伝わります。

これまでCDやDVDは販売されておらず、2025年3月にはベルリンフィルオーケストラとの共演が予定されており、それが“所有”できる音源として販売されることを期待しています。

「もはやCDやDVDは時代遅れ。音楽や動画は、配信サイトを“利用”して視聴したり、ダウンロードする時代。」

そうとも思うのですが、昭和のど真ん中から生きてきた私は、モノとしてのありがたみを味わいながら手に取って楽しみたいのです。

YouTubeをBluetoothに接続し「HIMARI」さんを気持ちよく視聴していても、突然の広告中断、余韻に浸る間もなく流れる音量に差のあり過ぎる広告。

早送りすることのできない広告を約5秒から1分近く我慢しスキップする。「タダなんだから我慢」とは思うのですが、『無料お試し』ボタンの誘惑に負けてしまいそうです。

サブスク文化も定着し、時代は“所有から利用へ”移行しているようですが・・・皆さんは、どうしていますか？

「HIMARI」さんのLIVEに行きたい Yoshitaka

○事務局 総務部 より

「団体保険のご案内」と「未加入者へのご案内」

宮城県理学療法士会 理事
事務局長 高橋 利幸

平素より大変お世話になっております。宮城県理学療法士会の活動にご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

当会では 2012 年より皆様の福利厚生制度の一つとして、団体保険加入を行っております。現在約 1,600 名の会員数ですが、コロナ感染症の影響などで未加入者 500 名程度が契約にいたらなかった状況にあります。今年で加入 12 年目を迎え、改めて会員の皆様へ、再度加入のご案内をさせていただきます。

こちらのご案内は令和 6 年 7 月 31 日時点で「未加入の方へのご案内」となります。加入後に何らかの理由で休会手続きを行った方については、保険からも退会扱いになってしまっておりますので、案内を受け取られた方は、改めて加入手続きお願いいたします。なお、会の福利厚生制度ですので、皆さんが個人的に保険料をご負担することはございません。

その他、加入状況や申し込み方法などについては、メットライフ生命保険株式会社 担当者（筋野様）が病院・施設のリハビリテーション部門管理者、個人会員の皆様に、ご連絡の後、訪問にて説明に伺う予定としております。

【メットライフとの契約内容】

本契約の趣旨	弔慰金・見舞金既定の支払い財源充当のため
対象者（被保険者）	正会員
保険種類	（無配当）総合福祉団体定期保険
主契約	保険金額決定基準 全員一律 100 万円（死亡） 保険金受取人 規定上の受給者
引き受保険会社名	メットライフ生命保険株式会社

【新規加入者】

契約の適用日	加入手続き申込の翌月 1 日より
--------	------------------

○宮城県理学療法士会

大交流会 2024 開催報告

宮城県理学療法士会 理事
事業局長 櫻井 健太郎

7月27日(土)に宮城県理学療法士会大交流会2024が開催されました。

5年ぶりの開催になりましたが、当日は参議院議員の田中昌史先生、2019年～2023年までの協会賞を受賞されました先生をはじめ、60名を超える理学療法士の皆様にご参加いただき交流会は大盛況のもと終了することが出来ました。

新ためて顔のみえる交流が図ることができ、お越し頂きました皆様の素敵な笑顔が沢山拝見できました事、何よりも嬉しく思います。

これからも士会員同士の交流が図れるような企画を考えてまいりますので、引き続きご協力の程宜しくお願い致します。



渡邊好孝会長 乾杯の挨拶



2021年度受賞 黒後 裕彦先生



田中 昌史先生 ご挨拶



2022年度受賞 榎 望先生



2023年度受賞 齋木しゅう子先生

○ブロック局

各支部長からのご挨拶

ブロック局

宮城県理学療法士会は14の「支部」で構成されています。以前は7つの「地区」で構成されていましたが、地域を細分化して支部構成となり、支部長、支援理事が配置され、徐々に各支部での活動が活発になってきていると感じています。本号では、14支部のうちの「仙南支部」「岩沼支部」「太白支部」「青葉支部」「若林支部」「宮城野支部」「泉支部」の支部長の先生方より、各支部の活動や特徴について簡単ではございますがご紹介いただきます。残り7つの支部につきましては、次号でのご紹介となりますのでご期待ください。

【岩沼支部】支部長 安孫子 洋（総合南東北病院）

【仙南支部】支部長 阿部 功（総合南東北病院）

岩沼、仙南支部は暫定的に合同で活動を行っていきたいと思います。名取以南全域とエリアが広く、施設数も多い支部ですが、患者・利用者も広域に動く時代ですので、地域での連携を高めていければと思います。顔の見える関係性の構築と、地域特性に応じた研修会の企画・実施をしてみたいと考えております。支部の皆様から何かご要望がございましたら反映していきたいと思いますので、ご連絡お待ちしております！

【太白支部】支部長 大鹿糠 徹（広南病院）

太白支部で支部長をしております広南病院リハビリテーション部の大鹿糠です。太白支部では、年に1~2回の研修会を企画・運営しております。当支部では『脳卒中者の歩行再建を考える研修会』と題して、脳卒中領域での理学療法、特に移動能力として重要な歩行再建をメインテーマに掲げております。この領域でご活躍されている先生方を講師とした講演や、地域連携を深めるための症例検討会などを行っております。ご興味のある方は是非一度ご参加ください。

【青葉支部】支部長 井澤 真一（東北保健医療専門学校）

青葉支部の支部長が変更になりました。今年度から青葉支部の支部長を務めます東北保健医療専門学校の井澤真一です。さて、今年度の青葉支部の活動でございますが、令和7年1月19（日）に仙台市の5つの支部合同での講習会を企画しております。仙台市ブロック局合同講習会は今年で3回目の開催となります。講習会テーマは、「臨床で役立つ中枢疾患の診かた～エビデンスに基づく理学療法～」となります。

【若林支部】 支部長 片岡 洋樹（仙台医健・スポーツ専門学校）

若林支部支部長の片岡洋樹と申します。若林支部では、年1回、仙台市の5支部で合同研修会を実施しております。毎年、盛況で本年度も開催予定です。今後に関しては、若林区での交流を深めるための交流会や、地域活動や地域スポーツに関連する研修会を開催したいと考えております。なるべく直接顔を見ながらの交流を通して、この地区を盛り上げていきたいと思っております。みんなで楽しく繋がりを増やし、協力体制を作りましょう！

【宮城野支部】 支部長 工藤 渉（仙台東脳神経外科病院）

はじめまして、宮城野支部長を拝命しました仙台東脳神経外科病院の工藤渉と申します。未だ宮城野支部単独の活動は行えていませんが、理事や各支部長の先生方と共に2022年度から仙台市内5支部共同で合同研修会を実施しております。これからは顔の見える関係づくりに向けて、皆様と一緒に宮城野支部内の活動（交流会や研修会等）も少しずつ形にできるよう尽力していきたいと考えております。皆様のご協力の程よろしくお願いいたします。

【泉支部】 支部長 高村 真司（仙台リハビリテーション専門学校）

泉支部の支部長を務めさせて頂いている高村真司（仙台リハビリテーション専門学校）と申します。私が支部長をさせて頂き早数年が経過致しました。皆様へ向けた日々の業務の一助が出来ればと、近年では支部合同講習会の開催にあたりお手伝いをさせて頂いておりました。今年度からはそれに加え、泉区ブロックにて循環器に関わる講習会を計画しております。準備が出来次第、皆様へご案内出来ればと思っております。泉区ブロックが活発になるよう今後も挑戦させて頂きたいと思っておりますので、引き続き皆様からのご支援の程、何卒宜しくお願い致します。

○予防と健康づくり部

これまでの活動概要とこれから

社会局 予防と健康づくり部

岩淵隆俊（介護老人保健施設せんだんの丘）

日野和也（塩竈市立病院）

予防と健康づくり部では、毎年11月に開催される「仙台市介護予防月間」に関連するイベントでのブース出展や、仙台市内市民センターとの共催での各種講座や運動指導を行っています。更には、大崎市や大河原町、大郷町などで、地域住民を対象としたイベントでの運動ブースの出展や健康に関する講話、地域住民同士で作る「自主グループ」の立ち上げ支援など、多岐に渡る活動を行っています。

以前は「介護予防推進部」という名称で活動をしておりました。正に名称の通り、主に高齢者を中心に「介護が必要にならないように」という視点での活動でした。しかし、ここ数年は先に記載した通り、地域住民の方々と直接関わる機会が増えてきたことにより「介護予防」だけではなく、「健康づくり」という視点での活動も増えてきております。

部員のほとんどの勤務先は医療機関や介護保険関係の事業所ですが、部の活動を通して、地域住民との関わりや運動指導など、様々な経験を積んでいます。これにより、自分自身の理学療法士としての視野の広がりや知識・技術の習得にも繋がっていると感じています。日々の臨床での経験や知識に、部での経験が加わる事で、今後も更に成長できる可能性を強く感じることが出来ます。

令和6年度の医療・介護報酬改定においては、理学療法士や作業療法士が病院や介護施設の中だけでなく、地域に出て、住民などに対してリハビリテーションの考え方や実際の関わりを提供することがいくつかの加算の要件にも追加されました。現在は「部員」中心となって活動していますが、今後は各支部とも協力し、出向く地域の近くにある病院や介護施設の理学療法士と一緒に活動していきたいと考えています。今後ともよろしくお願いいたします。

【昨年度の活動の様子】



仙台市介護予防月間オープニングイベント
～体組成計を用いての体力測定



地域住民への体操指導の様子（地域の方の自宅にて）

【今年度の予定とボランティア募集】

1. 仙台市介護予防月間 オープニングイベント
日時：11月24日（日曜日） 9：30～15：30
内容：体力測定とフィードバック、フレイルに関する講話
2. 仙台市市民センター共催事業
 - 1) 若林市民センター
日時：11月1日（金曜日）午前
内容：介護予防に関する講話や実技指導
 - 2) 荒町市民センター
日時：11月20日（水曜日）午前
内容：介護予防に関する講話や実技指導
 - 3) 根白石市民センター
日時：11月21日（木曜日）午前
内容：介護予防に関する講話や実技指導

上記「今年度の予定」全てでボランティアに協力頂ける方を募集しております。

活動内容は、記載の活動内容の補助、転倒リスクが高い方の見守りなどです。

ボランティア申し込みは以下の内容を記載の上、メールにてお願いいたします。

① 氏名 ② 所属先 ③ 申し込み頂く活動 ④ メールアドレス ⑤ 電話番号

申し込み先：kazuhino1013@gmail.com 担当・日野

【部員募集】

予防と健康づくり部では随時、年度途中でも新しい部員を募集しております。

まずは、ボランティアに参加して頂いてから又は、2～3ヶ月に一度開催している「部会」にて部員や部の雰囲気を見てからでも構いません。部会では単に各種活動に向けた話し合いだけでなく、毎日の業務に活かすことができる情報収集や情報交換も行っています。是非、お待ちしております。

○ 『第 29 回国際車いす

テニス大会仙台オープン 2024』活動報告

令和 6 年 6 月 27 日（木）～30 日（日）の 4 日間、シェルコムせんだい（仙台市泉区野村新桂島前 48）にて、『第 29 回国際車いすテニス大会仙台オープン 2024』が開催されました。

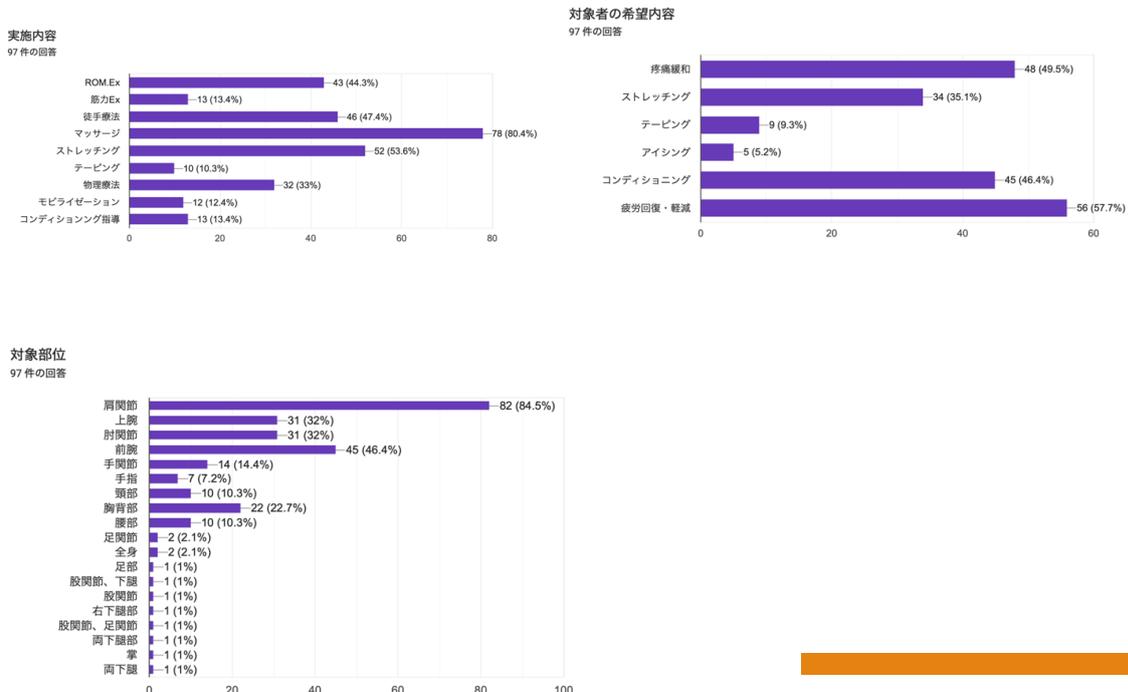
大会期間中、宮城県理学療法士会では、会場内にコンディショニングブースを開設して選手のコンディショニングを行うなど、これまで約 20 年にわたり大会をサポートしています。

コンディショニングブースは、県士会公式 LINE で会員へ広報公募し、参加希望された 17 名の会員のご協力のもと運営しました。また、使用する物理療法機器は、伊藤超短波株式会社様から、最新機器を数台ご提供いただきました。

大会に参加される会員には、車いすテニスを実際に見て、選手と関わりながら、何かを感じてもらう事が重要と考えています。実際に選手のプレイを自分の目で見るだけでなく、大会会場には、車椅子展示や車いすテニス体験会などもあり、競技用車椅子に乗車して自分自身が実際にプレイすることで、選手の訴えや競技の理解に繋がりますし、日々の臨床のヒントや新たな視点を得る機会、また、物理療法の効果を実感できる機会となります。

もしあなたが、「興味はあるけど・・・」と考えているとしたら、恐れずに踏み出し、飛び込んでみてください。選手はじめ大会運営ボランティアスタッフ、そして我々は、そんなあなたを心待ちにしています。ご興味のある方は是非下記連絡先へご連絡ください。

【実績】 利用延べ件数 97 件



【参加会員の感想】

- 車椅子テニスに触れイメージよりもパラスポーツのきつさと下肢機能が低くてもできることが多いこと、脊損患者や下肢切断の方たちの可能性に気づくことができ良い経験になりました。
- 初めての参加で臨機応変さがいかに大事か痛感しました。改めて、テーピングや物理療法を学ぶ機会になりました。
- 今まで経験できなかった対象者と関わった。また、車椅子の世界の広さを感じました。障害者スポーツに少し興味が出まして、個人的に障害者スポーツのボランティアを始めました。きっかけをありがとうございました！
- 競技者側の体験をし、どこが疲労しやすいか、痛めやすいかがわかったので次回に活かしたいと思いました。
- 経験年数に関係なく、治療させていただける環境がとても刺激的だと感じました。また、治療の技術や知識を先輩方から教えていただける点については、学生であっても非常に学びの多い機会とすることが可能であるという印象を受けました。
- 自身の病院では関わることがほとんどない方々と交流し、とても有意義な時間を過ごせたと思います。また選手たちが利用している用具や考えを聞いたことで私の知識の幅を広げることができたと思います。
- 体の障害は多様にあるものの、同じルールの中で、同じ道具を使ったスポーツを行うことの大変さと、選手の凄さを改めて実感することができた。スポーツはただの趣味ではなく、生きがいにもなることも感じ、その動作について専門的に関わっていけることに楽しさを感じた。



一般社団法人宮城県理学療法士会社会局スポーツ部
千葉 渉 mpt.sports2002@gmail.com

○国際交流・支援等委員会

活動報告と今後の企画

宮城県理学療法士会 理事
国際交流・支援等委員会 三田村 徳

報告：「グローバル社会における理学療法士の活躍に資する事例紹介」として、当委員会とともに東京都・大阪府・埼玉県・沖縄県の5つ都道府県理学療法士会（以下、士会）より、国際的な活動をご紹介いただきました。各士会よりヘルスケア、スポーツ領域、地域における外国人対応、海外との学会連携など、どのような国際的な活動をしているのか、運営方法や経験を踏まえた資料が掲載されております。

グローバル化がさらに加速化する現在、理学療法士においても持続的に活躍できる仕組みや領域拡大や海外展開、共生社会への広がりも重要視されております。また、「世界理学療法連盟学会(World Physiotherapy Congress)2025」に向けて、全国に国際的な機運が高まっております。

今年度の企画として、

9月8日：「インディペンデントリビング」の無料上映会

障害者の自立生活にフォーカスしたドキュメンタリー映画「インディペンデントリビング」上映会を亀塚温泉（岩沼：JOCA 東北）にて共催。

国際理解・開発教育講演：JICA 東北との共同企画

開催日程：2024年12月上旬～中旬を予定、講師：菊池真美子 氏（JICA 東北、理学療法士）

JPTA 国際事業課の活動とこれから（仮）：協会と県士会の連携企画

開催日程：2025年2月8日（土）、講師：伊藤智典 氏（日本理学療法士協会理事、国際事業課課長）よりご講演、仙台駅周辺にて開催いたします。

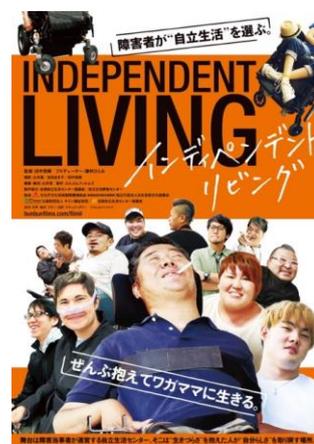
他にも、オリンピック・パラリンピック国際スポーツ企画、JICA 海外協力隊とオンラインで繋ぐ企画を計画しております。

グローバルな視点や国際的な

ネットワークが広がる絶好の機会

となります。ぜひ、皆様のご参加

をお待ちしております！



○第28回宮城県理学療法

学術大会の開催について

会 期: 2025年2月2日(日)

会 場: 東北文化学園大学+Live配信(一部)

大 会 長: 鈴木博人(東北文化学園大学) 準備委員長: 栗村竜也(みやぎ南部整形外科クリニック)

大会テーマ: 理学療法を誠実に楽しむー経験の共有と共話による成長ー

演 題 登 録: 一次申し込み: 2024年10月31日(木)午後5:00まで

抄録原稿提出: 2024年12月16日(月)午後5:00まで

大会企画:

【講演一覧】

大会長企画講演

- 「運動学習の視点から理学療法と誠実に向き合う
ー臨床で行う運動学習評価の提案ー(仮)」
- 川崎 翼 氏(東京国際大学)

教育講演1

- 「心不全と誠実に向き合う
ーステップアップ1・2・3ー(仮)」
- 竹内 雅史 氏(東北大学病院)

教育講演2

- 「変形性関節症者の歩行障害と誠実に向き合う(仮)」
- 矢口 春木 氏(仙台赤十字病院)

【一般演題企画】

1) 研究報告

例年通り、実験研究、調査研究、活動報告、施設紹介等を実施!

2) 連携症例検討会(New)

地域で連携して治療にあたった症例についてフリーに発表・議論できる企画を設定しました!

教育講演3

- 「めまいの訴えと誠実に向き合う
ー理学療法としての課題とこれからー(仮)」
- 塩崎 智之 氏(奈良県立医科大学)

教育講演4

- 「重症心身障害児と誠実に向き合う
ー理学療法士としてできることとこれからー(仮)」
- 辻 清張 氏
(こども発達支援センターのびろ)

教育講演5

- 「脳卒中者の姿勢障害と誠実に向き合う
ーこれまでとこれからー(仮)」
- 網本 和 氏(仙台青葉学院大学)

3) 症例検討会

・フレッシュマン・セッション(継続!!)

若い皆さんの経験を皆で共有し、温かい共話で発表を楽しもう!

・ビギナーズ・セッション(New)

「新人ではないが、発表は初めてで…」
そんな声に応えたい!新人でなくとも、初発表を楽しく経験できるセッションです!

(学術大会部 部長: 青木 和人)

宮城県理学療法士会 主催研修会

登録理学療法士班講習会

- 10月1日 身体活動に伴う呼吸循環応答 –運動負荷試験の見方が変わる–
- 10月19日 回復期における脳卒中患者に対するリハビリテーション～急性期から回復期、回復期から生活期にかけて～
- 10月19日～20日
- 10月26日 身体運動学から捉えるバランス制御と理学療法アプローチ
- 12月1日 基礎から学ぶ脳卒中患者の病態と動作分析
–神経学的視点と身体運動学的視点から動作を視る–
- 1月11日 心理学に基づいた運動学習理論アプローチによる運動・動作の指導方法
–2024 後半・動作後指導編–
- 1月12日 実技研修会–胸部のフィジカルアセスメント・呼吸介助–
- 1月12日 地域理学療法の展開

前期後期研修班講習会

- 12月7日 教育部生涯学習部研合同研修会
基礎からわかる！触れる！触診技術（第2回新人オリエンテーション）

宮城県理学療法士会主催症例検討会（後期研修 E-2、前期研修 D-2）では、発表者を募集中です。

参加申し込みは QR コードを読み取り県士会ウェブサイトからお願いします！



認定専門班講習会

脳卒中・運動器・呼吸 3 領域開催！

2024 年 12 月 14 日～2025 年 1 月 31 日の期間でオンデマンド受講可能です。

認定 PT を目指すなら宮城がお得です！ QR コードを読み取り HP をご確認ください！



○理学療法士が教える

ぜひ読んでおきたいこの1冊

宮城県理学療法士会 副会長

榊 望

『モリー先生との火曜日』 アルボム・ミッチ著（別宮貞徳訳）

NHK 出版

Advance Care Planning (ACP) ～人生会議、の領域では有名な本ですのでご存じの方も少なくないと思いますが、私達の生業にもつながる倫理について考えさせてくれる一冊ですので、ご紹介させていただきます。

主人公であるミッチは、多忙な売れっ子スポーツライター。そんな彼はある日、大学時代の恩師であるモリーが、かつての面影もないほど弱々しく、車椅子に乗りテレビのインタビュー番組に出演しているのを見かけて衝撃を受け、忙しい時間を割いて恩師に会いに行くノンフィクションです。

遠く離れた地までわざわざ赴いてくれたミッチに、モリーはベッドの上から大いに歓迎します。彼は ALS が進行しており既に自力で ADL を遂行する事が出来ないほどになっていました。恩師に死期が迫っていることを知ったミッチは、モリーの来週火曜日にまた来て欲しいとの求めに応じ、恩師との別れが来る 15 週間後まで、毎週「人生の意味」をテーマとする生涯最後の授業（対話）を受けるというストーリーです。

モリーは、死を人生最後のプロジェクトと捉え、生活の中心に据えて日々を送っていました。ミッチへの授業の題目は、愛・仕事・社会・家族・老い・金・許し、そして死と多岐に渡り、その中で人生の中で最も大事なことは、愛をどうやって外に出すか、どうやって中に受け入れるか、その方法を学ぶことであると言います。そしてこの学びは、他者との愛情あるつながりが支えとなるのだと、モリーは仕事のみで没頭していたミッチに繰り返し説いています。

作中印象深かったのは、精神的保護というキーワードで、これは私達が PT として社会に働きかけている間、図らずも対象者にとってそのような存在になり得るだろうと感じました。単に治療を提供するだけでなく、その様な存在でいられるよう振る舞っているだろうか？ 常に対象者を支えることを意識できているだろうか？ このキーワードを目にする度、いつも自問自答している気がします。

この本は、テーマは多様ですが面白いもので、読み流してしまう部分と一言一句がしみこむ箇所が毎回変わります。目に留まるのは今自分にとって不足していて、必要な教えなのかもしれません。

プライベートでも仕事でも、深い考えを持たずにやり過ごしている日常に一石を投じてくれるこの本、一度手に取ってみてはいかがでしょうか。



令和6年度 宮城県理学療法士会 役員名簿

2024/6/24

部署		氏名	勤務先	〒	勤務先住所	勤務先TEL	
理事	会長	渡邊 好孝	医療法人社団会	981-3217	仙台市泉区美沢字立田屋敷17-1	022-378-5666	
	副会長 (事務・財務・事業局担当)	藤野 逸香	東北労務学院	989-1901	鹿田郡田端町大字前田字北原59-6	0224-84-6121	
	副会長 (学術・教育局担当)	村上 賢一	東北文化学園大学	981-8351	仙台市青葉区台原4-3-21	022-278-1111	
	副会長 (社会・ブロック局担当)	阿部 功	総合南東北病院	989-2483	岩沼市豊の杜1-2-5	0223-23-3151	
	副会長 (各種委員会担当)	榎 望	仙台リハビリテーション学院	981-3341	宮崎市成田1-3-1	022-351-8118	
	理事	事務局長	高橋 利幸	エバーグリーン病院	981-3217	仙台市泉区美沢字立田屋敷17-1	022-378-5666
	理事	財務局長、事務局長	新山 正都	大和町たかほし整形外科クリニック	984-9042	仙台市若林区大和町1-4-13	022-220-2773
	理事	事業局長、職能担当	櫻井健太郎	仙台成瀬神経外科病院	983-0821	仙台市宮城野区若原1-12-1	022-235-7117
	理事	学術局長	鈴木 博人	東北文化学園大学	981-8351	仙台市青葉区台原4-3-21	022-278-1111
	理事	教育局長	鈴木 誠	東北文化学園大学	981-8351	仙台市青葉区台原4-3-21	022-278-1111
	理事	社会局長	阿部 功				
	理事	ブロック局長	榎田 晋次	仙台医健、スポーツ専門学校	984-0051	仙台市若林区南2-1-11	022-292-2128
	理事	事務局長	坂下昭希忠	医療法人社団光友会アルハイム川崎	989-1901	鹿田郡田端町大字前田字北原59-6	0224-84-6121
	理事	学術・教育局担当	高橋 一輝	東北文化学園大学	981-8351	仙台市青葉区台原4-3-21	022-278-1111
	監事	監事	社会・ブロック局担当	石島 孝樹	株式会社ハートピア	989-3207	仙台市青葉区中山台西11-11
監事		社会・ブロック局担当	関 崇志	広南病院	982-8523	仙台市太白区長町南4丁目20番1号	022-248-2131
監事		社会・ブロック局、委員会担当	安藤子 洋	総合南東北病院	989-2483	岩沼市豊の杜1-2-5	0223-23-3151
監事		委員会担当	三田好 徳	東北医科大学病院	983-0312	仙台市宮城野区第3丁目3番1号	022-350-1221
監事			藤藤 伸也	仁明会 地域支援事業部	980-0875	石巻市北広町1番1号	0225-96-3736
監事			奥野 裕彦	東北文化学園大学	981-8351	仙台市青葉区台原4-3-21	022-278-1111
監事			三浦 幸一	特別養護老人ホームまろのろ	982-8335	仙台市太白区駒形本町2丁目12	022-398-6124
相談役		相談役	安藤 晋	自宅			
事務局		総務課 (部長)	坂下昭希忠				
		会員情報管理部 (部長)	加藤 弘由	仙台市障害者総合支援センター	981-3133	仙台市泉区泉中央2-24-1	022-771-6511
財政局	経理課 (部長)	新山 正都					
	公益事業管理部 (部長)	方山 望	国立病院機構 仙台西多賀病院	982-8335	仙台市太白区駒形本町2-11-11	022-245-2111	
事業局	士会事業管理部 (部長)	石田美樹子	仙台エコー医療センター	989-3212	仙台市青葉区学館字横前1-1	022-394-3711	
	法人事業管理部 (部長)	櫻井健太郎					
学術局	学術大会部 (部長)	青木 和久	大和町たかほし整形外科クリニック	984-9042	仙台市若林区大和町1-4-13	022-220-2773	
	学術課 (部長)	平山 和哉	東北文化学園大学	981-8351	仙台市青葉区台原4-3-21	022-278-1111	
	専門領域研究部 (部長)	坂上 西徳	仙台青葉学院短期大学	982-0011	仙台市太白区長町4-3-35	022-308-2071	
教育局	生涯学習部 (部長)	岡明信代子	東北文化学園大学	981-8351	仙台市青葉区台原4-3-21	022-278-1111	
	教育部 (部長)	阿部 立治	東北文化学園大学	981-8351	仙台市青葉区台原4-3-21	022-278-1111	
社会局	予防と健康づくり部 (部長)	岩瀧 逸俊	介護老人保健施設 センダんの丘	989-3201	仙台市青葉区台原4-3-21	022-727-7722	
	スポーツ部 (部長)	千葉 渉	松田病院	981-3217	仙台市泉区美沢字立田屋敷17-1	022-378-5666	
	医療保険部 (部長)	金子亮太郎	松田病院	981-3217	仙台市泉区美沢字立田屋敷17-1	022-378-5666	
	介護保険部 (部長)	渡辺 和良	総合南東北病院	989-2483	岩沼市豊の杜1-2-5	0223-23-3151	
ブロック局	仙南支部	支部長 阿部 功	支部長 安藤子 洋		旭豊支部 支所長 鈴木 輝	旭豊総合病院	
	岩沼支部				黒川支部 支所長 榎 望		
	太白支部	支部長 大鹿雅 肇	広南病院		大崎支部 支所長 小野寺 和久	大崎市民病院	
	青葉支部	支部長 斉藤 真一	東北保健医療専門学校		右巻支部 支所長 伊藤 貴広	右巻市立病院	
	若林支部	支部長 片岡 洋輔	仙台医健、スポーツ専門学校		荒原支部 支所長 前川 芳輝	荒原中央病院	
	宮城野支部	支部長 工藤 渉	仙台成瀬神経外科病院		豊栄支部 支所長 小寺 光彦	豊栄市民病院	
	泉支部	支部長 高村 真司	仙台リハビリテーション専門学校		旭豊支部 支所長 榎 望	介護老人保健施設はまなすの丘	
若狭委員会	若狭支援対策委員会	坪田 順子 (委員長)	合同会社リハビリタ				
	表彰委員会	坂下昭希忠 (委員長)					
	理学療法士の日運営委員会	櫻井健太郎 (委員長)					
	組織調査委員会	榎 望 (委員長)					
	S領域リハ振興委員会	阿部 功 (委員長)					
	先進リハ機器活用推進委員会	安藤子 洋 (委員長)					
	E-radiog委員会	水戸幸由美 (委員長)	仙台市				
	政策検討委員会	藤藤 寛太 (委員長)	介護老人保健施設はまなすの丘	988-0334	仙台市太白区長町外尾25	0226-42-2915	
	臨床実習指導者講習会運営委員会	鈴木 誠 (委員長)					
	国際交流・支援等委員会	三田好 徳 (委員長)					
仕事と家庭・私生活の両立を支える委員会	坂下 昭希忠 (委員長)						
諮問委員会	MTA新時代構想会議	渡邊 好孝 (委員長)					
	組織検討委員会	榎 望 (委員長)					
特設委員会	第45回東北理学療法士学術大会準備委員会	鈴木 博人 (委員長)					
	60周年・法人20周年記念誌編纂委員会	櫻井健太郎 (委員長)					
	障害者虐待対策推進委員会	高橋 一輝 (委員長)					
選挙管理委員会		方山 勝利	仙台赤十字病院	982-0801	仙台市太白区八木山本町2-43-3	022-243-1111	
選出委員	日本理学療法士協会代議員		藤野 逸香	村上 賢一	阿部 功	鈴木 博人	
	東北ブロック協議会 学術局	学術大会部	鈴木 誠				
		機関誌編集部	芝崎 渉	総合南東北病院	989-2483	岩沼市豊の杜1-2-5	0223-23-3151
		教育研修部	川上 真吾	若石病院	981-0301	鹿島郡志保町字五ノコ 3-7	0225-83-2111
	宮城県リハビリテーション専門職協会 理事	渡邊 好孝	藤野 逸香	櫻井健太郎			

